

審査委員長

樞密顧問官侯爵黒田 長成

審査委員

樞密顧問官 鎌田 榮吉

樞密顧問官 鈴木貫太郎

樞密顧問官 有馬 良橘

樞密顧問官 窪田静太郎

樞密顧問官子爵栗野慎一郎

樞密顧問官 鈴木 莊六

樞密院議長男爵倉富勇三郎殿

昭和八年三月 日立案

主筆 書記官

書記官長

書記官

鐵道省官制中改正ノ件  
審査報告

謹テ今回御諮詢ノ鐵道省官制中改正ノ件

ヲ審査スルニ鐵道省ニ於テハ從來國有鐵道

關聯  
ニ連結スル自動車ノ運輸事業ヲ國有鐵道附

帶ノ業務トシテ管理シタルモ支道ニ至ルニ至

捕獲ニ必要ナルニ由 今後之ヲ鐵道ト相並

テ大規模ニ經營スル者茲ニ本案ヲ以テ因省

官制中ニ改正ヲ加ヘ

鐵道大臣ハ

皆國有鐵道ニ關聯スル國營自動車及其ノ附

帶業務  
鐵道大臣ノ管理ニ屬スルコトヲ規定セムトスルモノニシテ

道監察官ハ右業務ノ監察ニ屬スルコトヲ

明定  
（第十條）右國營自動車ノ運輸及其ノ附帶業

務ニ關スル事項ノ運輸所掌ニ屬スルコトヲ

他未定機關

特記其間由今當事項中連結運輸ハ従来國

（聯）  
（連）  
（結）  
（輸）  
（輸）  
トナルヲ

有鐵道ト他ノ鐵道、軌道及航路トノ間ニ根ヲ

廣シ鐵道大臣ノ管理スル交通機關ト他ノ交

（連）  
（結）  
（輸）  
（輸）

通機關トノ間ニ改定（第六）ヲ在リ  
（ト）  
（ス）

按スルニ本案ハ鐵道者ニ於テ従来國有鐵道ニ附

帶シテ小規模ニ行ヒタル自動車ノ運輸事業ヲ

並

之ト對立シテ大規模ニ經營セムトスルニ付

（必要）  
（ナ）  
（ル）

改正ヲ現行官制規程中ニ加ヘムトスルモノニシテ別

ニ支障ノ虞ヲ認メサルニ由リ此ノ儘之ヲ可決セラ

レ然ルヘシト思料ス

樹 密 附

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

昭和八年三月十日

書記官長

議長宛



昭和八年三月二十二日

委員長 平沼副議長 宛

委員 富井顧問官 荒井顧問官 宛

河合顧問官 鎌田顧問官 宛

石井顧問官 有馬顧問官 宛

原顧問官 栗野顧問官 宛

五 國際聯盟脱退ニ關スル措置案審査報告